

前橋市がスリランカ国を相手国として ホストタウン第 6 次登録となりました

1 ホストタウン構想

内閣官房が進めるホストタウン構想とは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、地方公共団体が「ホストタウン」となり、大会参加国と地域との間での人的・経済的・文化的な相互交流を図ることで、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等を図ることを目的としています。

2 概要

(1) 交流の相手国 スリランカ民主社会主義共和国

(2) 経緯

1990 年代に前橋市の有志が寄付を募り、スリランカ国に「前橋幼稚園」を建設、平成 27 年 5 月には「はしご付消防自動車」を贈呈し、スリランカ国における消防力の充実強化と両国の友好親善を図りました。

また、平成 27 年 8 月、前橋市にスリランカ国と日本の友好の架け橋となる「在群馬スリランカ民主社会主義共和国名誉領事館」が開設されたことなどを踏まえ、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に継続的な相互交流を進めていきたいなど本市の意向を打診したところ、スリランカ国スポーツ大臣より書面にて正式に 2020 東京オリンピック・パラリンピック大会に参加する選手のキャンプ地の提供などの依頼があったことから、ホストタウン登録の申請を行い、平成 30 年 2 月 28 日付で登録となったもの。

(3) 交流計画の内容

2020 東京オリンピック・パラリンピックに関する事前キャンプの選手受け入れ、オリンピック・パラリンピアン講演会、文化体験ツアー・食文化の紹介など文化交流を行う。

本件に関するお問い合わせ先

スポーツ課 スポーツ誘致係

電 話 内線 / 4041
直通 / 027-898-6005